

平成30年3月 5日

財南小保護者の皆様へ

日向市立財光寺南小学校
校長 岩永 律子

平成29年度学校評価アンケートの結果

ようやく寒さの底を経て春の到来を予感させる季節となりました。児童の卒業・進級も間もなくです。保護者の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年12月に皆様方に学校評価に係るアンケート調査を御依頼申し上げましたが、多くの皆様方に御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

また、このアンケート調査は、全校児童と教職員に対しても実施しているため、児童、保護者、教職員による3つの視点から比較分析することを通して、成果や課題を捉えることができました。

まず、「確かな学び」、「豊かな心」、「健康・安全」、「連携等」の4つの観点につき15の質問を設けておりましたが、その結果は、別紙に一覧表として掲載しておりますのでご覧ください。

次に、学校の方針や取組についても様々な角度から御意見を述べていただきました。全般的には、肯定的または励ましとしての意見が多く見られました。一方、今後、学校として、家庭や地域との連携によって改善すべき点についての御指摘もいただきました。

なお、今回のアンケートの集約結果を基に2月28日（水）に、学校評議員さんとPTA三役の皆さんによる学校関係者評価委員会を開催し、いただいたご意見も含めて学校評価を総括しました。

そこで、今後課題として取り組んでいく主な内容を下記に掲載します。

記

【確かな学び】

- ◇ 授業の1時間ごとの授業のねらいや内容を精選し、児童一人一人にとって「めりはりのある」「分かりやすい」指導に努める。また、学習規律を全校で揃え、児童が落ち着いた態度で学べる環境づくりに努める。（一人一人の児童の学力を今よりも高める）
- ◇ 家庭学習の課題は、児童の実態を考慮して出していくようにする。また、「量よりも質」を基本とした課題を工夫し、家庭との連携についても今後再考していく。
- ◇ 読書への関心・意欲を高めるための読書活動や学校図書館の利用について工夫する。

【豊かな心】

- ◇ あいさつや会釈については、学校ぐるみ、家庭ぐるみ、地域ぐるみの重点的取組として連携を強化しながら取り組む。（財光寺中学校区の重点指導事項）
- ◇ 無言清掃を一步進め、師弟同行による「美化」を目指した清掃を目指していく。
- ◇ 教職員が児童と日々しっかり向かい合うとともに、家庭・地域からの情報も真摯に受け止めながら心の教育や社会的ルール・マナーについての教育を充実させる。

【健康・安全】

- ◇ 児童の体力や運動能力を向上させるための体育科学習や日常的な体力づくりの在り方について工夫していく。また、昼休み等の戸外での遊びや運動を奨励していく。
- ◇ 登下校中をはじめ、道路歩行・自転車による道路走行の安全指導について、家庭や地域と連携をいっそう強化して取り組む。
- ◇ 災害時想定の種類避難訓練を的確な「計画→実施→評価→分析・改善」で行っていく。
※ 今回のアンケートでも、巨大地震や津波に見まわれた際の、学校の屋上への避難や学校の水・食料・防寒用具等の備蓄についての御意見が寄せられています。
避難所や備蓄等の対応については、管轄している日向市当局と協議しながら対応していくことが大切であると考えています。なお、南海トラフ地震を想定した校舎の耐震強度と屋上の海拔については、日向市当局から避難所としての安全性に係る確認をとっています。学校は、迅速・安全に指定場所に避難させることを一番の課題であると考え、対応しています。

【その他】

- ◇ 学校の取組や児童の様子・変容について、通信やホームページで積極的に紹介していく。（本年度の経過については、財光寺南小学校ホームページでご覧いただけます。）